



平成 17 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 2 月 7 日

上場会社名 イーピーエス株式会社

(コード番号：4282 東証 第二部)

(URL <http://www.eps.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 巖 浩

問合せ先 責任者役職名 常務取締役 人事・総務・経理担当 氏名 神宮 孝一 TEL(03)5684-7797(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 無

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無： 無

連結範囲及び持分法の適用の異動の有無： 無

連結子会社数 12社 持分法適用非連結子会社数 -社 持分法適用関連会社数 2社

2. 平成 17 年 9 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 16 年 10 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年第1四半期	2,471	(7.2)	190	(328.9)	184	(371.3)
16年第1四半期	2,306	(29.0)	83	(146.0)	68	(93.9)
(参考)16年9月期	10,926		1,411		1,465	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年第1四半期	195	(815.0)	2,257	18		
16年第1四半期	27	(4,106.3)	314	99		
(参考)16年9月期	766		8,812	67		

(注) 持分法投資損益 17年第1四半期 0百万円 16年第1四半期 0百万円 16年9月期 0百万円
期中平均株式数(連結) 17年第1四半期 86,805株 16年第1四半期 87,000株 16年9月期 87,000株
平成15年11月20日付効力発生として1:3の株式分割を実施しております。その結果発行済株式の総数は、29,000株から87,000株となっております。
売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益のパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。
平成16年第1四半期及び平成16年9月期の期中平均株式数及び1株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年第1四半期	7,654	5,027	65.7	58,309	47
16年第1四半期	6,516	4,317	66.3	49,626	02
(参考)16年9月期	8,432	5,365	63.6	61,673	54

(注) 期末発行済株式数(連結) 17年第1四半期 86,226株 16年第1四半期 87,000株 16年9月期 87,000株
平成15年11月20日付効力発生として1:3の株式分割を実施しております。その結果発行済株数は、29,000株から87,000株となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年第1四半期	525	23	250	1,588
16年第1四半期	124	779	47	2,465
(参考)16年9月期	577	1,139	113	2,394

3. 17年9月期の連結業績予想(平成16年10月1日～平成17年9月30日)

平成17年9月期業績予想につきましては、平成16年11月16日に発表いたしました予想を変えておりません。

経営成績及び財政状態

1. 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

(1) 第1四半期の概況

当期におけるわが国経済は、成長の勢いはやや鈍化しているものの、企業収益、設備投資、個人消費とも増加が続いており景気回復の基調は継続していくものと見込まれますが、海外経済、原油価格、為替レートの動向等今後については予断が許されない状況で推移しております。こうした中でも当社が属するCRO（医薬品開発業務受託機関）の業界及び子会社である株式会社イーピーリンクが展開しているSMO（治験施設支援機関）の業界は引き続き成長を続けており、非臨床事業の業界も堅調に推移しております。

CRO事業につきましては、当社を中心に展開しております。

当社においては、長期試験の分野では抗癌剤、糖尿病治療薬などの大規模市販後臨床試験は、引き続きデータマネジメント、モニタリング業務を展開しておりますが、抗高脂血症薬のモニタリング業務は昨年の12月に終了し、データマネジメントは本年9月に終了を迎える予定であります。

開発段階の試験につきましては、臨床企画開発部門において、既存プロジェクト及び派遣業務の遂行とともに新規プロジェクトの獲得等順調に拡大してまいりました。

登録・進捗管理業務、データマネジメント業務、統計解析業務に関しましては、臨床情報処理部門において引き続き拡大を図ってまいりましたが、既存プロジェクトの症例数減少や、新規受注予定のうち一部案件について開始時期が遅れたこと等により、前年同期と比べますと売上、利益とも大きく下回る結果となりました。

医療機器開発業務、臨床試験参加者募集向けコールセンター業務、安全性情報業務につきましては、引き続き拡大をめざしてまいります。

一方、連結子会社に関して、イーピーメディカル株式会社は、製薬会社向け人材派遣業務の他にMR派遣サービス等の新規事業を開始しておりますが、先行的な費用が発生しており増収減益となりました。

システム開発業務につきましては、オーライソフトウェア株式会社及びその子会社である往来軟件（北京）有限公司が、中国IT技術者を活用した事業を進めておりますが、前期から引き続き日本のソフトウェア開発需要が全般的に低迷し、苦戦しております。

その結果、CRO事業として当四半期売上高は、1,674百万円（前年同期比3.5%増）となり、当四半期営業損失は、161百万円（前年同期 営業利益106百万円）となりました。

SMO事業につきましては、株式会社イーピーリンク及び日本エスエムオー株式会社において展開しております。株式会社イーピーリンクは、CRC（医療施設における臨床試験コーディネーター）業務と併せて地域医療機関との提携による臨床試験事務局などのサイトサポート業務が拡大しており、増収増益となりました。

一方、サイトサポート業務中心の日本エスエムオー株式会社は、10月の移転、社内体制の再構築、受託案件の進捗遅延、一部の受託案件の失注等により、大幅な損失を計上いたしました。

その結果、SMO事業として当四半期売上高は、503百万円（前年同期比49.2%増）、当四半期営業損失は、53百万円（前年同期 営業損失70百万円）となりました。

非臨床事業につきましてはエルエスジー株式会社において展開しております。実験用動物の出荷遅延と一部実験用動物の需要減となっておりますが、マウス用ケージ及び特殊飼料は、計画どおりに推移しました。

その結果、非臨床事業として当四半期売上高は、304百万円（前年同期比15.4%減）、当四半期営業利益は、23百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

上記の事業の種類別セグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載

しておりますので、それを控除した結果、当四半期連結売上高は、2,471 百万円（前年同期比 7.2%増）当四半期連結営業損失は 190 百万円（前年同期 連結営業利益 83 百万円）となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

（２）品目別の生産、受注及び販売の状況

生産実績

区 分	当第 1 四半期連結会計期間 （自 平成16年10月 1 日 至 平成16年12月31日） （千円）	前年同期比（％）
CRO事業		
データマネジメント業務	534,758	73.4
モニタリング業務	796,044	110.5
システム開発業務等	365,586	130.1
CRO事業計	1,696,388	98.0
SMO事業	500,596	148.9
非臨床事業	303,879	84.6
合 計	2,500,863	103.1

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

受注実績

当連結会計期間における受注状況は以下のとおりであります。

区 分	当第 1 四半期連結会計期間 （自 平成16年10月 1 日 至 平成16年12月31日） （千円）			
	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
CRO事業				
データマネジメント業務	474,219	83.6	2,908,207	127.4
モニタリング業務	1,028,918	79.7	5,673,983	127.5
システム開発業務等	460,412	157.3	430,386	128.7
CRO事業計	1,963,549	91.3	9,012,576	127.5
SMO事業	384,149	92.2	1,326,495	121.2
非臨床事業	381,866	238.8	300,586	143.8
合 計	2,729,564	100.1	10,639,657	127.1

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

販 売 実 績

区 分	当第1四半期連結会計期間 (自平成16年10月1日 至平成16年12月31日) (千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
データマネジメント業務	524,203	72.6
モニタリング業務	796,752	127.0
システム開発業務等	345,338	132.3
CRO事業計	1,666,293	103.5
SMO事業	501,822	148.8
非臨床事業	303,879	84.6
合 計	2,471,995	107.2

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当四半期における前連結会計年度末からの財政状態の変動は、以下のとおりとなりました。

当四半期末における流動資産は、現金及び預金が805百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が439百万円減少した一方でたな卸資産が77百万円増加したことなどにより、1,161百万円減少して4,565百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の新規取得や期末時価評価などにより382百万円増加いたしました。その結果当四半期末における総資産は、778百万円減少して7,654百万円となりました。

負債の部においては、流動負債では、未払法人税等や賞与引当金がそれぞれ469百万円、249百万円減少した一方で、短期借入金70百万円、その他流動負債が61百万円増加したことなどにより、555百万円減少しましたが、固定負債で130百万円増加したことにより、当四半期末における負債合計は425百万円減少して2,267百万円となりました。

資本の部では、利益剰余金が284百万円減少したことや自己株式を241百万円取得した一方で、投資有価証券の期末時価評価に係るその他有価証券評価差額金が191百万円増加するなどにより、当四半期末における資本の部は337百万円減少して5,027百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が221百万円となり、売上債権の減少による収入が439百万円あった一方で、賞与引当金の減少が248百万円、法人税等の支払を483百万円行ったことなどにより、525百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券の取得による支出を46百万円行ったこと、有形固定資産の取得による支出を37百万円行った一方で、その他投資活動による収入が98百万円となった結果、23百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金による収入が70百万円ありましたが、自己株式の取得に241百万円支出したことや、株主及び少数株主に対する配当金の支払を75百万円行ったなどの結果、250百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の換算差額を加えて、当四半期末における現金および現金同等物は、805百万円減少して1,588百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報等

今後もわが国経済は、底堅く推移すると見込まれているものの、原油価格の高値推移、海外経済の動向、円高傾向等により引続き予断の許されない状況が予想されます。

当社では、データマネジメント、統計解析、登録・進捗管理、コールセンター、安全性情報サービス等の業務を行う臨床情報処理部門、モニタリング、医療機器関係等の臨床開発を行う臨床企画開発部門の両部門を中心に、情報収集と受注活動を行う企画推進部、海外での臨床試験関連業務を行う国際部等から構成されており、当四半期の遅れを取り戻すべくデータマネジメント、モニタリングを中心に推進してまいります。

人材派遣業を行うイーピーメディカル株式会社は現在の製薬会社向けの人材派遣サービスを拡大しつつ、MR等の新たなサービスを採算ベースにのせることができるよう邁進してまいります。

グループ会社では、中国IT技術者を活用したソフトウェア受託開発を行うオーライソフトウェア株式会社は支援サービスを中心に業績改善を見込んでおります。また中国子会社は、既に受注した案件を中心に新規案件の獲得を推進してまいります。

SMO事業を行う株式会社イーピーリンクは、引続き受注拡大を見込んでおります。また日本エスエムオー株式会社は、体制整備により新規案件の受注を図ってまいります。

また非臨床事業を行うエルエスジー株式会社は、引続きマウス用ケージ及び特殊飼料といった成長性のある分野を付加し、安定した業容拡大が予想されます。

これらにより平成17年9月期の中間期及び通期の連結業績見通しは、平成16年11月16日に発表しました予想数値を変更いたしません。

平成17年9月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,190	483	213
通 期	13,703	1,901	956

第1四半期連結財務諸表

第1四半期連結貸借対照表

区 分	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	1,588,406	2,465,340	876,934	35.6	2,394,225
2 受取手形及び売掛金	2,217,614	1,677,208	540,406	32.2	2,657,424
3 たな卸資産	234,727	201,340	33,387	16.6	157,689
4 その他	525,262	324,859	200,402	61.7	518,244
5 貸倒引当金	835	928	92	10.0	958
流動資産合計	4,565,175	4,667,821	102,645	2.2	5,726,626
固定資産					
1 有形固定資産	248,268	202,815	45,452	22.4	231,724
2 無形固定資産	125,425	81,037	44,387	54.8	126,310
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,489,943	315,487	1,174,455	372.3	1,120,163
(2) 敷金・保証金	545,141	495,843	49,298	9.9	549,427
(3) 長期性預金	500,000	500,000			500,000
(4) その他	180,229	253,145	72,915	28.8	178,690
投資その他の資産合計	2,715,314	1,564,476	1,150,837	73.6	2,348,281
固定資産合計	3,089,008	1,848,330	1,240,678	67.1	2,706,316
資産合計	7,654,183	6,516,151	1,138,032	17.5	8,432,943

区 分	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	253,345	251,708	1,636	0.7	255,825
2 短期借入金	70,000	100,000	30,000	30.0	
3 一年以内返済予定の長期借入金	28,600	28,600			26,400
4 前受金	317,464	450,201	132,737	29.5	285,360
5 未払法人税	13,793	8,238	5,555	67.4	483,196
6 賞与引当金	96,143	80,572	15,571	19.3	345,375
7 その他	882,946	662,889	220,056	33.2	821,637
流動負債合計	1,662,292	1,582,210	80,082	5.1	2,217,794
固定負債					
1 長期借入金	5,200	31,600	26,400	83.5	11,800
2 退職給付引当金	178,869	135,044	43,825	32.5	175,236
3 役員退職慰労引当金	125,406	101,689	23,716	23.3	114,835
4 その他	295,850	10,259	285,590	2,783.6	173,409
固定負債合計	605,326	278,593	326,733	117.3	475,281
負債合計	2,267,619	1,860,803	406,815	21.9	2,693,076
(少数株主持分)					
少数株主持分	358,772	337,884	20,888	6.2	374,268
(資本の部)					
資本金	1,325,250	1,325,250			1,325,250
資本剰余金	1,275,300	1,275,300			1,275,300
利益剰余金	2,099,921	1,689,826	410,095	24.3	2,384,290
その他有価証券評価差額金	591,270	38,169	553,101	1,449.1	400,027
為替換算調整勘定	22,462	11,082	11,380	102.7	19,270
自己株式	241,488		241,488	100.0	
資本合計	5,027,792	4,317,463	710,328	16.5	5,365,598
負債、少数株主持分 及び資本合計	7,654,183	6,516,151	1,138,032	17.5	8,432,943

第1四半期連結損益計算書

区 分	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	2,471,995	2,306,631	165,363	7.2	10,926,504
売上原価	2,117,947	1,725,198	392,749	22.8	7,643,445
売上総利益	354,048	581,433	227,385	39.1	3,283,058
販売費及び一般管理費	544,360	498,298	46,061	9.2	1,871,236
営業利益(損失)	190,312	83,134	273,446	328.9	1,411,822
営業外収益					
1 受取利息	5,181	1,361	3,819	280.5	16,737
2 保険解約益	3,353	1,558	1,795	115.2	30,171
3 受取手数料	828	830	1	0.2	4,748
4 連結調整勘定償却額		4,634	4,634	100.0	11,166
5 その他営業外収益	1,096	996	100	10.1	14,857
営業外収益合計	10,461	9,381	1,079	11.5	77,681
営業外費用					
1 支払利息	458	870	411	47.3	2,733
2 障害者雇用協会納付金	1,100	1,100			3,300
3 為替差損	3,022	22,019	18,997	86.3	16,263
4 持分法による投資損失		511	511	100.0	
5 その他営業外費用	87	5	81	1,415.6	2,164
営業外費用合計	4,668	24,507	19,839	81.0	24,461
経常利益(損失)	184,519	68,008	252,527	371.3	1,465,042
特別利益					
1 固定資産売却益	237		237		570
2 貸倒引当金戻入益	122	3,542	3,420	96.5	
3 投資有価証券売却益					90,581
特別利益合計	359	3,542	3,183	89.9	91,152
特別損失					
1 固定資産除売却損	83	4,495	4,411	98.1	24,067
2 子会社役員退職慰労引当金繰入	11,275		11,275		
3 子会社移転費用	25,556		25,556		
4 その他特別損失					30,773
特別損失合計	36,915	4,495	32,420	721.2	54,841
税金等調整前四半期(当期) 純利益(損失)	221,075	67,056	288,131	429.7	1,501,353
法人税、住民税及び事業税	7,287	11,673	4,386	37.6	748,630
法人税等調整額	28,590	28,398	56,989	200.7	75,704
少数株主利益又は少数 株主損失()	3,837	420	3,417	813.0	61,725
四半期(当期)純利益(損失)	195,934	27,404	223,339	815.0	766,702

第1四半期連結剰余金計算書

区 分	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高	1,275,300	1,275,300			1,275,300
資本剰余金四半期末 (期末)残高	1,275,300	1,275,300			1,275,300
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高	2,384,290	1,705,922	678,368	39.8	1,705,922
利益剰余金増加高					
1 四半期(当期)純利益(損失)	195,934	27,404	223,339	815.0	766,702
利益剰余金減少高					
1 配当金	87,000	43,500	43,500	100.0	87,000
2 その他	1,433		1,433		1,334
利益剰余金四半期末 (期末)残高	2,099,921	1,689,826	410,095	24.3	2,384,290

第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成17年9月期第1四 半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四 半期)	(参考) 平成16年9月期
区 分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	221,075	67,056	1,501,353
2 減価償却費	17,250	17,106	65,114
3 賞与引当金の増加額(減少額)	248,663	203,069	56,846
4 退職給付引当金の増加額	3,632	11,134	51,326
5 役員退職慰労引当金の増加額(減少額)	10,571	3,914	9,231
6 受取利息及び受取配当金	5,181	1,361	17,487
7 支払利息	458	870	2,733
8 投資有価証券売却益			90,581
9 固定資産除売却損	83		24,067
10 売上債権の減少額(増加額)	439,398	266,657	530,036
11 たな卸資産の増加額	77,145	85,205	43,875
12 前受金の増加額	34,241	305,148	14,004
13 仕入債務の増加額(減少額)	3,242	73,897	77,688
14 その他の流動負債の増加額	40,828	57,511	113,651
15 その他	41,451	27,611	50,391
小計	50,297	478,218	1,183,646
16 利息及び配当金の受取額	8,589	1,236	14,299
17 利息の支払額	650	870	2,813
18 法人税等の支払額	483,046	353,911	617,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	525,404	124,672	577,892
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入れによる支出		500,000	500,000
2 有形固定資産の取得による支出	37,143	31,926	81,006
3 無形固定資産の取得による支出	4,750	11,410	28,880
4 投資有価証券の取得による支出	46,723	200,000	403,000
5 投資有価証券の売却による収入			99,415
6 敷金・保証金に係る支出	33,422	43,575	72,974
7 子会社株式の取得による支出		12,700	46,836
8 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得に係る支出			167,804
9 その他	98,692	19,624	61,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,346	779,987	1,139,531
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入れによる収入	70,000	100,000	550,000
2 短期借入金の返済による支出			550,000
3 長期借入金の返済による支出	4,400	4,400	26,400
4 配当金の支払額	62,604	33,018	85,966
5 少数株主への株式の発行による収入			14,000
6 少数株主への配当金の支払額	12,475	14,925	14,925
7 自己株式の取得による支出	241,488		
財務活動によるキャッシュ・フロー	250,967	47,656	113,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,100	1,956	5,799
現金及び現金同等物の減少額	805,818	609,615	680,730
現金及び現金同等物の期首残高	2,394,225	3,074,955	3,074,955
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,588,406	2,465,340	2,394,225

第1四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項 目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
1 連結の範囲に関する事項	<p>子会社は株式会社イーピーリンク、エルエスジー株式会社他10社であり、全て連結対象としております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク、エルエスジー株式会社他10社であり、全て連結対象としております。 当連結会計年度より日本エスエムオ株式会社を株式譲受により、新たに連結子会社としております。</p>
2 持分法の範囲に関する事項	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p>	<p>同左</p>	<p>同左</p>
3 連結子会社の四半期決算日(決算日)等に関する事項	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.の決算日は、12月31日であります。</p> <p>四半期連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は四半期連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.LGLOBAL, INC.は9月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>	<p>同左</p>	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.、LS GLOBAL, INC.の決算日は、12月31日であり、その他の連結子会社の事業年度末日は、連結会計年度と一致しております。</p> <p>連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER, INC.LSGLOBAL, INC.は6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>

項 目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
<p>4 会計処理基準に関する事項</p> <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当四半期決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 個別法による原価法 ただし、一部の在外連結子会社は総平均法による低価法</p> <p>有形固定資産 親会社及び国内連結子会社は定率法、在外連結子会社は定額法によっております。なお、主な耐用年数は、建物15年、器具及び備品4～6年であります。</p> <p>無形固定資産 自社利用ソフトウェアについて利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案した必要額を計上することとしております。</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当四半期負担相当額を計上しております。</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 同左</p> <p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p> <p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 同左</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当連結会計年度末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 同左</p> <p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p> <p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、翌期支給見込額のうち当期負担相当額を計上しております。</p>

項 目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
(4) 重要な外貨建資産または負債の本邦通貨への換算基準	<p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。</p>	<p>退職給付引当金 同左</p>	<p>退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。</p>
	<p>役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当四半期連結会計期間末要支給見込額を計上しております。</p>	<p>役員退職慰労引当金 同左</p>	<p>役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。</p>
	<p>外貨建金銭債権債務は、当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。</p>	<p>同左</p>	<p>外貨建金銭債権債務は、当連結会計年度末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。</p>
(5) 重要なリース取引の処理方法	<p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	<p>同左</p>	<p>同左</p>

項 目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
(6) その他当四半期連結財務諸表(連結財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左
5 当四半期連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	当四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同左	連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(平成16年10月1日から平成16年12月31日まで)

	CRO事業 (千円)	SMO事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,666,293	501,822	303,879	2,471,995		2,471,995
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,097	1,195	1,035	10,327	(10,327)	
計	1,674,391	503,017	304,914	2,482,323	(10,327)	2,471,995
営業費用	1,836,072	556,850	281,133	2,674,055	(11,747)	2,662,307
営業利益	(161,681)	(53,832)	23,781	(191,732)	1,420	(190,312)

- (注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(CRO)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(SMO)事業、非臨床事業に区分しております。
- 2 各区分の主な役務の名称
- (1) CRO事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務
- (2) SMO事業.....CRC業務、臨床試験事務同等のサイトサポート業務
- (3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務
- 3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

前年同四半期連結会計期間(平成15年10月1日から平成15年12月31日まで)

	CRO事業 (千円)	SMO事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,610,140	337,223	359,268	2,306,631		2,306,631
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,068		1,035	9,103	(9,103)	
計	1,618,208	337,223	360,303	2,315,734	(9,103)	2,306,631
営業費用	1,511,668	408,128	314,417	2,234,213	(10,716)	2,223,497
営業利益	106,540	(70,904)	45,886	81,522	1,613	83,134

- (注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(CRO)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(SMO)事業、非臨床事業に区分しております。

- 2 各区分の主な役務の名称
 - (1) C R O事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務
 - (2) S M O事業.....C R C業務、臨床試験事務局等のサイトサポート業務
 - (3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務
- 3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

前連結会計年度(平成15年10月1日から平成16年9月30日まで)

	C R O事業 (千円)	S M O事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,804,756	1,861,902	1,259,845	10,926,504		10,926,504
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,629	12,685	4,140	43,455	(43,455)	
計	7,831,386	1,874,588	1,263,985	10,969,959	(43,455)	10,926,504
営業費用	6,776,363	1,709,358	1,079,078	9,564,801	(50,119)	9,514,681
営業利益	1,055,022	165,229	184,906	1,405,158	6,664	1,411,822

(注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(C R O)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(S M O)事業と非臨床事業に区分しております。

- 2 各区分の主な役務の名称
 - (1) C R O事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務
 - (2) S M O事業.....C R C業務、臨床試験事務局等のサイトサポート業務
 - (3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務
- 3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。